

きょうわ

協和小学校

学校通信

2011

11/8

No. 38

平成23年度 協和小学校教育目標

自立への芽をはぐくむ

出発式 として お米販売

＝ 被災地へお米を届けたい！ ＝

5年生52名のチャレンジ！

本校では例年、農事組合法人「たねっこ」やJA秋田おばこのご支援をいただいて、5年生が「田植え」や「稲の生長観察会」、「稲刈り」等の稲作体験学習を行っております。さらに、イオントップバリュ株式会社とジャスコ大曲店のご協力により、収穫したお米の販売体験をさせていただいております。これら農業体験や商業活動体験は、本校キャリア教育の一環として行っているもので、稲作体験はあっても販売体験まで行っている小学校は多くはありません。

今年3月に大震災があったことから、被災地へお米を届けたいという5年生の強い想いを受けて、今回は「被災地へお米を届ける出発式」も行いました。出発式には、栗林大仙市長さんもお臨席くださり、子どもたちを激励してくださいました。

お米は、本校2年生の [] さんが昨年度通っていた仙台市立荒浜小学校に届けられます。荒浜小学校は、津波の被害によって校舎が使用できず、現在東宮城野小学校の校舎を借りて勉強を続けているそうです。荒浜小学校では、11月30日に「おにぎりパーティー」を計画しており、5年生が送ったお米が使われる予定です。



1・2・3年生の秋のお楽しみ やきいもパーティー

1年生から3年生までが、毎年秋の楽しみにしている「やきいもパーティー」。今年は11名の方がボランティアとしてお手伝いくださり、子どもたちも安心して焼きいも作りに挑戦することができました。そして、青空の下で、ホクホクに焼けた黄金色のやきいもを食べることができ、みんな大満足の日でした。

